



ヤマトナデシコ

なでしこ 第5号

H22 (2010)、8、30 発行
沖館川をきれいにする会
事務局 781-0862



平成 22 年度 の総会盛況

7 月 26 日(月)
沖市セで開催の
総会にはこれまで

にない 53 人の会員等が出席、始めに加川会長から“沖館川をきれいにする会の活動に終わりはなく地域の後継者達に期待している。来る「10 月 3 日のグリーン作戦」には是非参加願いたい。また近く県・市当局へ川浚渫や水洗化などで要望したい…”などの挨拶があり、次いで顧問・来賓の挨拶のあと、議案の審議ではすべて滞りなく承認された。なお、役員は全員再選(欠員の監事 1 名を補充)となり、また懇親会には 44 名の方々に参加するなど、総会は大変盛況裡に終了することができ、会長・役員一同深く感謝しております。

[県・市への陳情・要望予定]

- 22、9、6 (月) 10:00 青森市上下水道部 (奥野)
- ” 9、13 (月) 11:00 青森県県土整備部 (県庁)
- ” 9、13 (月) 14:00 東青地域県民局地域整備部

沖小児童のEM活性液投入に立会

7 月 14 日(水)09:00、沖館小学校 4 年生 130 余名が社会総合学習の“沖館川キレイ作戦”の一端として、沖館川の田橋・相野橋・たぐみ橋の 3 ヶ所に分かれて、自分達で作ったEM活性液を一斉に投入した。同校から当会へ立会要請があり、この日寺嶋・成田・當麻の 3 人が夫々の橋へ同行して、山谷校長先生ほか引率の先生等と投入状況に立会い見分した。

(投入後、鯉が寄ってきて児童等は大喜び) ↓



沖小で「川」の 課外授業を実施

沖館小学校の要請により、今年も 6 月 21 日
4 年生 134 名を対象に、



当会では沖館川に係わる課外授業を実施した。

当日 10 時、石戸谷忠夫顧問が「沖館川の歴史」(90 分)、寺嶋副会長が「川水の水質検査と EM 活性液」(30 分)について夫々配布資料によって講義した。4 年生児童達は、7 月 6 日「石戸谷講師から沖館川の由来など貴重なお話を教わり大変良かった。私達も EM で川をもっともっときれいにしたい…」など、感謝とお礼を兼ねた感想文 63 枚(A4)を、山谷校長・村木学年担当先生の礼状と共に事務局あて送ってきました。

「海の日」EMで海・河川を浄化 (全国一斉)

7 月 19 日海の日に、NPO地球環境・共生ネットワーク(東京都)が主催して、「全国一斉に EM 団子・EM 活性液を海・河川に投入し環境浄化を進める」という運動が行われた。

当会でも、この日午前 10 時、加川会長の呼びかけで石戸谷顧問・阿部・寺嶋・成田・片岡の各役員等が(株)縄文開発環境(平川市)や沖館川を考える会の赤田会長・会員等と協力し、沖館川相野橋上に幟をたてるなどしてEM活性液(2 トン)とEM団子(100 個)を川へ投入した。沖館川をきれいにするための私達のアピール活動は、道行く市民にも物珍しく映ったようで何度も振り返って見ていました。



青森県県土整備部河川砂防課では、地域住民等の環境愛護活動を支援してボランティア活動を促進させるため「青森県ふるさとの水辺サポート」制度をH19年から運用しており、当会でも沖館川の環境保全に協力するため、22,9,1 付けで東青地域県民局長宛本制度に参加する旨の申込書を送付しました。